

令和 5 年 8 月 4 日

北勢線対策検討特別委員会

委員長 水谷 喜和 様

委員 水谷 喜和

研修報告書

研修期間	<u>令和 5 年 7 月 25 日（火）～26 日（水）</u> 【 2 日間】
研修（視察）先	25 日（火）衆議院第一議員会館 委員会室（国土交通省鉄道局） 26 日（水）銚子市役所（銚子電気鉄道）
目的（テーマ）	・ 三岐鉄道北勢線に係る運営補助金等について ・ 銚子電鉄の運賃外収入について
参加議員名 （複数の場合）	大谷 勝治 片松 雅弘 伊藤 治雄 山崎まゆみ 広田 久男
資料添付の有無	有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

研修概要、内容、所感

25 日（火）14：00～15：00

三岐鉄道北勢線に係る運営補助金等について

ローカル鉄道に対する支援について

国土交通省 事業課 地域鉄道戦略企画調整官 黒島 孝則
鉄道事業課 地方鉄道再構築推進室 係長 吉田聡

地域鉄道等に対する支援概要

1. 安全輸送の確保
2. 移動の利便性の向上、利用環境の改善
3. 利便性の向上

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律
法改正の概要

地域の関係者の連携と協議の促進

ローカル鉄道再構築に関する仕組みの創設・拡充

バス・タクシー等地域交通の再構築に関する仕組みの拡充

鉄道・タクシーにおける協議運賃制度の創設

ローカル鉄道の再構築に関する仕組みの構築

地方公共団体又は鉄道事業者は、大量輸送機関としての鉄道の特性を生かした
旅客運送サービスの持続可能な提供が困難な線区について、国土交通大臣に「再
構築協議会」の組織を要請。

地域公共交通再構築調査事業

危機的状況にあるローカル鉄道について、国も主体的に関与いながら、鉄道事
業者と沿線自治体の共創を促し、単なる現状維持でなく、持続可能性と利便性
の高い地域公共交通への再構築を促進していくため、関係者の合意形成に向け
た支援を行う。

先進車両導入関連事業の創設

地域公共交通の再構築のため、鉄道・バスに係る EV 車両、自動運転車両等、
先進的な車両を導入等する場合において、導入等の目的に応じて支援できる事
業の創設。

まちづくりを軸とした公共交通再構築の事例

JR 姫路線・・・新車両導入による速達性・快適性の向上

高松琴平電気鉄道・伏居駅・・・アクセス向上のための整備

観光を軸とした公共交通再構築の事例

阿蘇鉄道・・・沿線自治体が連携し、トロッコ列車の運行等、観光を主とした
取組

26 日（水） 9：00～12：00

銚子市議会 全員協議会室

銚子電鉄の運賃外収入について

銚子市議会 議長 広野 恭代 企画課室長 野口 昌輝
事務局次長 川口 美和 銚子電気鉄道 常務取締役 柏木 亮

・公共団体からの補助について

昭和 38 年 5 月、経営悪化が発端となり、銚子電鉄の重役会議において廃線意向が示されたことから、沿線住民が銚子電鉄廃止反対期成同盟を結成し、存続運動を行う中で、昭和 44 年 3 月に「鉄道事業継続について補助願い」の陳情書が銚子市に提出された。陳情を受け、市では、沿線住民の生活安定上必要な地方鉄道であり、その運行維持を図る公益上の必要があるとして、昭和 44 年度に市単独で補助金を交付した。翌 45 年度には県・市で約 1/2 づつの協調補助。昭和 50 年度に「地方鉄道軌道整備法」に基づく区間指定による、経営損失の 1/2 を国から、1/4 を県から得れ、平成 9 年度まで欠損補助の継続あり。

費用対効果の観点から、住民及び行政の見解は。現在、銚子市が投資への銚子電鉄に支援している内容は設備投資への補助金で、鉄道輸送における「安全性の確保」を目的としていることや財源として銚子電鉄応援金（7 割）特別交付税（3 割）で、ふるさと納税を充当しており、一般財源の負担がないので市民・行政ともに異論はないと考えている。

銚子電鉄運行維持対策協議会・銚子電鉄サポーターの活動内容は。
銚子電鉄運行維持対策協議会は現在解散し、銚子電鉄運行支援連絡会議として支援の検討等をしている。電鉄の経営状況を把握と共に、同社が運行する地方鉄道の利用促進及びこれを活用した地域の活性化について検討し、もって銚子電鉄の運行維持を図ることを目的にしている。

銚子電気鉄道株式会社 常務取締役 柏木 亮 氏

全線 6.4 キロ運行では、普通の経営では無理。

この町に電鉄あって、ありがとう！感謝！

情報発信基地として、ヤレルことは何でもする。

「乗って残そう」って言ったら もう終い。